

はじめに

次期中間処理施設整備基本計画を答申として呈上するにあたり、施設整備基本計画検討委員会を代表し、委員長としての緒言を冒頭に記す。

印西地区環境整備事業組合は、千葉県印西市の千葉ニュータウン中心部にあたる千葉ニュータウン中央駅近傍に位置し、昭和 61 年度より保有施設である印西クリーンセンターにおいて、印西地区（印西市・白井市・栄町）の一般廃棄物の中間処理を行ってきた。

これまで組合では、施設の老朽化に対応するため、施設更新計画を現在地及び近隣地で計画するも、暗礁に乗り上げ、計画の大きな変更を余儀なくされた。

これを受け、組合附属機関の用地検討委員会では、候補地を広く公募するという全国でも例の少ない手法と住民参加型の取り組みのもと、多面的かつ総合的に比較検討評価を行った。その結果、千葉ニュータウン地区内にある現施設から南東約 4 km に位置し、印西市においても屈指の景観を有する自然豊かな吉田地区が、建設候補地として最も優位と評価された。

その後、用地検討委員会の答申を踏まえ、組合の建設候補地選定会議により吉田地区を建設候補地として選定し、平成 26 年 3 月には、候補地の地元町内会である「印西市吉田区」と基本協定書を締結したことにより、新たなステップを踏み出した。

私共「次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会」は、この歩みを次のステップに繋ぐための基礎となる「施設整備基本計画」をまとめ上げることを使命として、組合管理者から諮問を受けた。

ごみの処理システムは、私たちの生活基盤を支えるライフラインの一つであるが、残念なことに廃棄物処理施設は、未だなお迷惑施設として認識されているのが現実である。

しかし、「印西市吉田区」は、当該事業を単にごみを衛生的に焼却減容化処理する施設の整備に止めず、エネルギーセンターとして地域活性化に寄与し、地域と共存共栄する施設の整備を提案された。当該地区の将来を見据えた強い思いに支えられた、全国でも類を見ないチャレンジである。

当委員会では、この思いに応えるべく「地域住民等の理解と協力を確保する安全・安心な施設整備」、「循環型社会形成と地域活性化の拠点となる施設整備」、「経済性と高度なシステムの両立を目指した施設整備」の三つを施設整備の基本方針に掲げ、限られた時間の中ではあったが、種々調査・審議を重ね、その結果をここに「次期中間処理施設整備基本計画」としてまとめた。

また、当委員会と並行して設置運営された「次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会」では、当該施設を核として展開する地域振興策の抽出、及び基本構想の検討・評価を担当した。

両委員会で取りまとめた次期中間処理施設整備基本計画と地域振興策の答申が、今後、建設候補地周辺住民の皆様との合意形成、そして徹底した情報公開と住民参加型の取り組みのもとに、全国に誇れる施設整備事業として実現していくための大きな一歩となることを期待して止まない。

次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会 委員長 大迫 政浩

